

第12回・第2期第3回宝塚市協働のまちづくり促進委員会 会議録	
開催日時	平成28年3月29日(火) 18:30~20:30
開催場所	宝塚市市役所3階 特別会議室
次 第	1 開 会 2 議事録 宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第11回)議事録 3 議 事 (1) 協働のマニュアルについて (2) 平成28年度の活動について 4 その他 5 閉 会
出席委員	久委員長、足立委員、飯室委員、熊澤委員、古泉委員、古村委員、中山委員、原田委員、檜垣委員、溝口委員、山本(洋)委員、石谷委員、高松委員、大西委員、山本(寛)委員
開催形態	公開(傍聴人0)

1 開会

第12回・第2期第3回宝塚市協働のまちづくり促進委員会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は15人、欠席者は4人であり、宝塚市協働のまちづくり促進委員会規則第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は0人であることを報告した。

2 議事録

宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第11回)議事録については、修正等の意見がなく、議事録(案)をホームページに掲載することを委員が了承した。

3 議事

(1) 協働のマニュアルについて

事務局より、協働のマニュアルについての「庁内検討の結果」報告及び「印刷製本」、「活用方法」について説明を行った。その後、委員による審議が行われた。

ア【会長意見】「庁内検討の結果」のウ(ア)について詳しく説明を。

イ 一例であるが、例えば、「又は」を「または」に、「気づく」を「気付く」など市の広報誌に準じて用字用語の整理を行った。

ウ【会長意見】他に質問がないようであれば、「協働のマニュアルについて」の修正はこれで確定としたい。

(2) 平成28年度の活動について

ア 事務局より、「平成28年度の活動について」の説明を行った。その後委員による

審議が行われた。

(ア)【会長意見】当面の会議スケジュールについては、これまでと同じように2つの部会に分かれて検討を行い、随所で全体会を開き、議論を行うという流れである。

(イ) 平成28年10月以降3月までの会議の開催はないのか。

(ウ) 資料では、当面の予定(半年分くらいのスケジュール)を出している。平成28年10月以降も会議は開催予定である。

(エ)【会長意見】前期の様子を見ながら後期の予定を決めていきたいと思う。

(オ) 平成28年度の目標は。

(カ)【会長意見】5月の全体会でも説明があるが、「住民自治組織のあり方に関する調査専門委員の報告書」(以下、「報告書」という)では、「これからのまちづくり協議会のあり方」、「協議会と行政の関係のあり方」を具体的に踏み込んで提言している。調査専門委員には、私以外に4人おられるが、場合によっては、4人の方に「協働の仕組みづくり検討部会」にオブザーバーとして参加いただき、協議ができたかと思っている。そして、「報告書」の中では、今後延長線として協議を行うのであれば、「協働のまちづくり促進委員会」がその任務を行うのがよいのではないかと提案もさせてもらっている。その理由としては、今まで部会は、公式な位置づけではないところで議論していた。そのため、後ろ盾という意味でも「報告書」の中で提案することで、公式な場として、部会で協議できるのではないかと考える。

また、すべてのまちづくり協議会の役員と話ができただけで、うまく運営できている協議会もあれば、課題を抱えている協議会もあることがわかった。それを踏まえたうえでの報告書であるので、その内容を受けていただき、すべての協議会でうまく運営でき、行政との連携がうまくいくように取り組んでいけたらよいと思う。

平成28年度は、「報告書」も踏まえるため、かなり具体的に議論ができるのではないと思う。

(キ) 行政は平成28年度について、どのような考えをもって進めていこうとしているのか。

(ク) 「協働の仕組みづくり検討部会」では、「報告書」を踏まえて理想的な「まちづくり協議会」を打ち出せられたらと思う。また、「協働のマニュアル策定部会」においては、「事例集」や「職員向けのマニュアル」の作成へ検討を進めていけたらと思っている。

(ケ)【会長意見】基本的には、委員のみなさんのやりやすい方向で検討していくということになる。他に意見がないようであればこの案で確定としたい。

イ 以後、協働のまちづくりについて等、委員間で意見交換が行われた。

4 閉会